

平成30年度第1回八雲町立図書館協議会議の記録

- とき 平成30年6月26日(火) 午後4時00分～午後5時15分
- ところ 八雲町立図書館 2階 集会室
- 出席委員 伊藤一年、見延誠一、石川和子、太田幸恵、小林幸子、山中久江の6名
- 説明員 教育長、館長、職員3名
- 傍聴者 なし

《会議要旨》

1. 開会 (進行) 図書館長

2. あいさつ 八雲町教育委員会教育長 田中 了 治
八雲町立図書館協議会委員長 伊藤 一 年

3. 議事 (進行) 伊藤一年会長

報告第1号 平成29年度 八雲町立図書館・熊石総合支所図書室 利用状況について
事務局より説明。質疑なし。

報告第2号 平成29年度 八雲町立図書館 施設利用状況について
事務局より、説明。

(委員) ホールの展示については個人でも可ということだが、搬入展示等について、図書館職員
に手伝ってもらえることはできるのか？

(事務局) 展示される方のレイアウトの好みもあるので通常はお任せしている。
可能な限り休館日の月曜日に搬入・準備をお願いする事となるが、職員は通常勤務で在
中しているので、ご要望に応じてお手伝いをさせていただきます。

(委員) 展示の期間に制限はあるのか？

(事務局) 2週間をめどに調整しているが、希望があれば相談に応じる。

報告第3号 平成29年度 八雲町立図書館・熊石総合支所図書室 事業実施状況について
事務局より、説明。質疑なし。

報告第4号 平成29年度 八雲町立図書館 歳入・歳出決算状況について
事務局より、説明。質疑なし。

議案第1号 平成30年度 八雲町立図書館・熊石総合支所図書室 事業計画について
事務局より、説明。質疑なし。

議案第2号 平成30年度 八雲町立図書館 歳入・歳出予算概要について
事務局より、説明。質疑なし。

議案第3号 子どもの読書活動推進計画について
事務局より、説明

(委員) (5月に実施した) アンケート調査についてのお話では、読書数が月に0冊という児童
生徒もおり、高校生の回答でも読書機会や学校図書室の利用が少ない傾向との事。

(事務局) 図書館としては、高校図書室の蔵書数や、整備状況について把握する機会はあるのか？
道立管理の図書整備環境でもあり機会はない。図書担当教諭と話す機会があり新校舎に
図書室が移設した事を機に、生徒の図書整備活動として外部施設の見聞により図書整理
に活かす案も考慮中との事。当館もご相談に応じて協力したいと考えている。

主体である各学校の積極的な読書活動への一助となるよう相談に応じながら協力あるいは相互支援という関係を形づくれたらと考える。訪問機会が少ない高校や市街地内学校からも相談がされやすいアプローチ・パイプ作りも必要かと思われる。

(事務局) 道の計画目標に基づき各学校図書室での取り組みに動きも見られる可能性があり、既に限られた蔵書数・室内環境の中で整備に向けて工夫を凝らす学校の努力も見えて取れる中で、地域図書館としても推進に向けたバックアップは相互支援の一環として進めていきたい。

(事務局) 初版となる当町計画案は各方面で働きかけている読書活動の延長線にある発展を第一と捉え、具体的な数値的目標に拘らず過度な負担を強いる事の無い方策を心掛け、併せて今後パブリックコメント等での意見も踏まえ策定を進めたい。

4. その他

事務局より、説明

- ・読書感想文感想画コンクール審査員について

現在読書感想文感想画コンクールの審査員は各学校に依頼をしており、12名の先生にご協力いただいているが、来年度に向け図書館協議会委員、各図書館に係るボランティア団体の皆さまを始めとして、最大で6名、先生以外の一般審査委員を含めた体制を検討している。背景には先生の働き方改革の一環として、かつ、先生と児童生徒の向き合う時間の拡充に繋げる取り組みが挙げられる。詳細については今年度2回目の図書館協議会において話を進めていくことになるが、現状についてご承知おきいただき、今後ご支援ご協力を頂けたらと考えている。

質疑なし。

5. 閉会